

平成 25 年度  
事業報告及び決算報告書

自 平成 25 年 4 月 1 日  
至 平成 26 年 3 月 31 日



公益社団法人日本地理学会

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル 3 階

電話 : 03-3815-1912 FAX:03-3815-1672

URL <http://www.ajg.or.jp>

## 平成 25 年度事業報告書

公益社団法人第 2 期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

2014 年 6 月 21 日総会提出

公益社団法人日本地理学会が定款に定める事業の概要は以下の通りである。

- ① 研究発表会、学術講演会等の開催による地理学研究の推進事業（定款 4 条 1 号）
- ② 学会誌及びその他の刊行物の発行による地理学研究の普及事業（定款 4 条 2 号）
- ③ 関連学術団体との連携及び協力並びに社会連携・社会教育の推進事業（定款 4 条 3 号）
- ④ 研究の奨励及び研究業績の表彰による学術の発展と科学技術の振興事業（定款 4 条 4 号）
- ⑤ 資格認定及び地理教育等の支援による地理学的知識・技術の普及及び社会貢献事業（定款 4 条 5 号）
- ⑥ 地理学に関連する国際的な研究協力の推進事業（定款 4 条 6 号）
- ⑦ その他目的を達成するために必要な事業（定款 4 条 7 号）

### I 事業の状況

- ① 研究発表会、学術講演会等の開催による地理学研究の推進事業

#### 1) 研究発表会等

集 会 名	開催年月日	参 加 者
(1)秋季学術大会(福島大学)	2013 年 9 月 28 日～9 月 30 日	416 名
一般（口頭）発表（77）、ポスター発表（28）、シンポジウム(5 件・36)	9 月 28 日～9 月 29 日	
第 24 回地理教育公開講座	9 月 28 日	
研究グループ集会(17 件)	9 月 29 日	
懇親会(生協食堂)	9 月 28 日	160 名
巡検 3 件	9 月 30 日	
(2)春季学術大会(国土舘大学)	2014 年 3 月 27 日～3 月 30 日	926 名
一般（口頭）発表（222）、ポスター発表（76）、シンポジウム(8 件・53)	3 月 27 日～3 月 28 日	
第 25 回地理教育公開講座	3 月 27 日	
研究グループ集会(21 件)	3 月 28 日	
懇親会(学生食堂)	3 月 27 日	243 名
巡検 2 件	3 月 29 日～3 月 30 日	

#### 2) 総会等

- |                 |                 |          |          |         |
|-----------------|-----------------|----------|----------|---------|
| (1) 総 会（第 1 回）  | 2013 年 6 月 22 日 | 出席者 15 名 | 委任状 78 名 | 合計 93 名 |
| （臨 時）           | 2014 年 3 月 26 日 | 出席者 53 名 | 委任状 38 名 | 合計 91 名 |
| (2) 代議員会（第 1 回） | 2013 年 9 月 28 日 | 出席者 50 名 | 委任状 48 名 | 合計 98 名 |
| （第 2 回）         | 2014 年 3 月 26 日 | 出席者 53 名 | 委任状 38 名 | 合計 91 名 |
| (3) 理事会         | 5 回・常任理事会 12 回  |          |          |         |

- ② 学会誌及びその他の刊行物の発行による地理学研究の普及事業

#### 1) 学会誌の刊行

- (1) 「地理学評論（Geographical Review of Japan Series A）」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻 号	発行部数
平成 25 年 5 月 1 日	86 3	3,500 部

平成 25 年	7 月 1 日	86	4	3,500 部
平成 25 年	9 月 1 日	86	5	3,500 部
平成 25 年	11 月 1 日	86	6	3,500 部
平成 26 年	1 月 1 日	87	1	3,500 部
平成 26 年	3 月 1 日	87	2	3,500 部

計 6 冊 (86 巻 3 号～87 巻 2 号) 482 ページ

論説 10 編、総説 1 編、短報 7 編、書評 21 編、紙碑、フォーラム、学会記事等を掲載した。

(2) オンライン学会誌「Geographical Review of Japan Series B」(J-STAGE 公開)を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号
平成 25 年 7 月 31 日	86	1
平成 26 年 3 月 27 日	86	2

計 2 冊 (86 巻 1 号～2 号・電子ジャーナル) 197 ページ

総説 14 編、論説 3 編、短報 1 編を掲載した。

(3) オンライン学会誌「E-journal GEO」を下記の通り発行した。

発行年月日	巻	号
平成 25 年 9 月 13 日	8	1
平成 26 年 3 月 13 日	8	2

計 2 冊 (8 巻 1 号～2 号・電子ジャーナル) 282 ページ

調査報告 6 編、各種解説記事 10 編、シンポジウム記事 12 編を掲載した。

2) その他の刊行物の刊行

「日本地理学会発表要旨集」を下記のとおり発行した。

発行年月日	号	発行部数
平成 25 年 9 月 10 日	84	750 部
平成 26 年 3 月 10 日	85	1,200 部

計 2 冊 (84 号～85 号) 511 ページ

③ 関連学術団体との連携及び協力並びに社会連携・社会教育の推進事業

- 1) 地理関連学会連合に加盟し、代表を送り、事務局を務めた。
- 2) 地理学連携機構に加盟し、代表委員を送った。
- 3) 日本地球惑星科学連合に加盟し、代表を学協会長会議および学協会連絡委員会に送るとともに、関連する委員会に必要に応じて委員を送った。
- 4) 人文・経済地理及び地域教育関連学会連携協議会に加盟し、代表委員を送った。
- 5) 自然史学会連合に加盟し、代表を送った。
- 6) 日本ジオパーク委員会活動に協力し、委員を送った。
- 7) 以下の 24 件について、他学会との交流を行った。

(1) 2013 年日本地球惑星科学連合大会

2013 年 5 月 19 日 (日)～24 日 (金) に幕張メッセにおいて開催された。

(2) 中部ライフガード TEC2013—防災・減災・危機管理展 (協賛)

2013 年 5 月 24 日 (金)～25 日 (土) にポートメッセなごやにおいて開催された。

(3) 2013 年京都国際地理学会議開催記念「地図展 2013 日本の世界文化遺産」(後援)

2013 年 7 月 27 日 (土)～8 月 5 日 (月) に京都駅地下街 Porta 内 ポルタプラザほかにおいて開催された。

(4) 富士学会 2013 年度春季学術大会 (後援)

2013 年 6 月 1 日 (土)～2 日 (日) に富士宮市民文化会館において開催された。

(5) 第 8 回日中韓地理学会議 (共催)

2013 年 7 月 31 日 (水)～8 月 4 日 (日) に九州大学箱崎キャンパスにおいて開催された。

(6) 全国中学校地理教育研究会第 54 回全国研究大会 (後援)

2013 年 8 月 2 日 (金)～3 日 (土) に東京都江戸川区東部区民館において開催された。

(7) 第 52 回地図ならびに地理作品展 (後援)

2013年9月7日(土)～21日(土)に広島市こども文化科学館において開催された。

(8) 富士学会 2013 年度秋季学術大会 (後援)

2013年10月26日(土)に山梨県立大学において開催された。

(9) 2013 年度「初等中等教育における GIS を活用した授業に係る優良事例表彰」(後援)

2013年10月26日(土)～27日(日)に慶應義塾大学三田キャンパスにおいて、初等教育現場で GIS を実践的に活用した授業に取り組んでいる教員に対し、表彰が行われた。

(10) 旭川市「第 23 回私たちの身のまわりの環境地図作品展」(後援)

2013年10月26日(土)～27日(日)に旭川市科学館において開催された。

(11) 山陰海岸ジオパーク国際学術会議「城崎会議」(後援)

2013年10月26日(土)～27日(日)に城崎温泉西村屋ホテル招月庭において開催された。

(12) 岐阜県「第 19 回児童生徒地図作品展」(後援)

2013年10月26日(土)～11月24日(日)に岐阜県図書館において開催された。

(13) GPS/GNSS シンポジウム 2013 (協賛)

2013年10月29日(土)～11月2日(土)に東京海洋大学越中島キャンパス越中島会館において開催された。

(14) 鳥取県「第 15 回児童生徒地域地図発表作品展」(後援)

2013年11月16日(土)～12月8日(日)に鳥取市歴史博物館(やまびこ館)、倉吉未来中心、米子市児童文化センターにおいて巡回展示が開催された。

(15) GIS day in 東京 2013 (後援)

2013年11月23日(土)に首都大学東京・南大沢キャンパスにおいて開催された。

(16) 多摩市「第 17 回身のまわりの環境地図作品展」(後援)

2013年11月29日(金)～12月1日(日)にパルテノン多摩において開催された。

(17) 日本学術会議公開シンポジウム「増大する災害と地球環境問題に地球人間圏科学はどう取り組むのか?」(共催)

2013年12月5日(日)に日本学術会議講堂において開催された。

(18) GIS day in 関西 2013 (共催)

2013年12月7日(土)に奈良大学において開催された。

(19) 日本アルプスの大規模地すべり研究グループ・信州大学山岳科学総合研究所シンポジウム「日本アルプスの大規模地すべり—第四紀地形学・地質学の視点から」(共催)

2013年12月7日(土)に信州大学理学部において開催された。

(20) 第 17 回全国児童生徒地図優秀作品展 (後援)

2014年1月11日(土)～2月23日(日)に地図と測量の科学館、国土交通省 1 階展示コーナー、NHK ふれあいホールギャラリーにおいて開催された。

(21) 日本学術会議公開シンポジウム「地域の再生と国のかたち—東日本大震災の教訓を活かす」(後援)

2014年1月12日(日)に日本学術会議講堂において開催された。

(22) 学部教育における地理学参照基準について (共催)

2014年1月12日(日)に日本学術会議講堂において開催された。

(23) 第 18 回「震災対策技術展」横浜 (後援)

2014年2月6日(木)～7日(金)に横浜国際平和会議場において開催された。

(24) ハーバード大学カール・スタイニッツ教授のジオデザイン・シンポジウム (後援)

2014年2月7日(金)に東京大学駒場リサーチキャンパスにおいて開催された。

④ 研究の奨励及び研究業績の表彰による学術の発展と科学技術の振興事業 (定款 4 条 4 号)

1) 平成 25 年度日本地理学会賞受賞者を表彰した。

優秀論文部門 (1 名): 原口 剛

若手奨励部門 (1 名): 杉江あい

論文発信部門 (1 編・4 名): 岩間信之・佐々木 緑・田中耕市・駒木伸比古

優秀著作部門 (1 名): 平岡昭利

著作発信部門 (1 名): 小野有五

地理教育部門 (1 名): 吉水裕也

学術貢献部門 (1 名): 太田陽子

社会貢献部門 該当なし

2) 以下の2件について、出版助成を行った。

阿部和俊・藤田佳久編著『日本の経済地理学 50年』古今書院。

岡橋秀典編著『現代インドにおける地方の発展—ウッタラーカンド州の挑戦—』海青社。

3) シュプリンガー・ジャパン（株）との間に取り交わした英文叢書出版覚書に基づいて、以下の2件を刊行した。

K. Okamoto and Y. Ishikawa eds.: *Traditional Wisdom and Modern Knowledge for the Earth's Future*.

K. Matsui: *Geography of Religion in Japan: Religious Space, Landscape, and Behavior*.

4) 小林浩二研究助成として、若手研究者に対するヨーロッパ研究助成を行った。

増根正悟：「体制転換後のスロヴァキアにおける小規模個人農の農業経営の実態と課題」

⑤ 資格認定及び地理教育等の支援による地理学的知識・技術の普及及び社会貢献事業（定款4条4号）

1) GIS 学術士資格認定制度

2013年度は3回の委員会を開催した。2014年2月28日現在のGIS学術士実績証明団体は30、GIS専門学術士実績証明団体は14である。GIS学術士28名、GIS専門学術士2名、GIS学術士（見込み）50名の認定を行った。

2) 地域調査士資格制度

2013年度は4回の講習会及び委員会を開催した。講習会の受講者は、地域調査士講習会175名、専門地域調査士講習会14名であった。また地域調査士39名（うち条件付き認定1名を含む）、専門地域調査士12名の認定を行った。2014年2月28日現在、学部科目については18大学・20学科（コース）、大学院科目については3大学院の開設科目が認定されている。

3) G空間「EXPO2013」（2013年11月16日（土））に参加し、「地理の魅力再発見！—未来を創る地理教育—」のシンポジウムの企画を実施した。シンポジウムは120名の参加者があった。

4) 第10回国際地理オリンピック大会（京都）を支援した。32か国126名の選手が参加し、日本選手は銀メダル1名、銅メダル1名と健闘した。

5) 一般市民を対象とする地理教育公開講座「3.11後の地理・防災教育」（秋季学術大会；参加者約55人）、「アメリカ世界地誌Q&A「エスニシティ・フードビジネス・グレートプレーンズ・デモクラシー」」（春季学術大会；参加者約60人）を実施した。

6) 秋季学術大会において、一般市民を対象とする公開講座「東日本大震災の発災・復旧・課題—地理学の取り組みと課題—：福島原子力災害に対する地理学的支援」（参加者約180人）、「同：東日本大震災の地理学的検証—『想定外』を繰り返さないために—」（参加者約130人）、「同：仮設住宅から復興公営住宅へ—地理学と隣接分野からの提言—」（参加者約80人）を実施した。また春季学術大会において、「レジリエントな国土・地域社会の構築に向けた地理学的課題」（参加者約100人）を実施した。

7) 春季学術大会において、高校生によるポスターセッションを実施した。

⑥ 地理学に関連する国際的な研究協力の推進事業（定款4条6号）

1) 日本地球惑星科学連合2013年大会

国際セッションとして「地球環境変化の人的側面研究計画IHDP」、「Global Land Project」に関連学会等と共催して提案した。

2) 第8回日中韓地理学会議（共催）

2013年7月30日（金）～8月4日（日）に九州大学において開催された。

3) IGU 京都国際地理学会議の開催支援

同会議は、2013年8月5日（月）～8月9日（金）に京都国際会館において開催された。本学会は、準備委員会委員として、同会議の開催に尽力した。また学会紹介パンフレット、DVD、ポスターを作成展示し、学会研究グループ紹介DVDを作成・配布した。

4) 春季学術大会において、「日本地理学の国際化」という題でシンポジウムを実施した。

5) 英文叢書として2冊を刊行し、日本における研究成果の国際的な発信に努めた。

⑦ その他目的を達成するために必要な事業（定款4条7号）

1) 東日本大震災ほかの災害に対する調査研究および社会貢献事業

(1) 公開シンポジウム「東日本大震災の発災・復旧・課題—地理学の取り組みと課題—」（秋季学術大会）および「レジリ

エントな国土・地域社会の構築に向けた地理学的課題」(春季学術大会)を実施した。

(2) 災害対応委員会のホームページを通じて、災害に関する情報を発信している。

2) ジオパークに関する調査研究および社会貢献事業

(1) 日本地球惑星科学連合大会において、日本地質学会、日本第四紀学会、日本火山学会、日本地震学会と連携し「ジオパーク」セッションを開催した。

(2) 昨年度に引き続き「大地の遺産百選」選定作業を進めており、次年度には公表の予定である。

(3) 科学技術振興機構主催のサイエンスアゴラ 2013 で行われた「ジオパークとユネスコエコパーク」の後援を行った。

(4) 春季学術大会において、公開シンポジウム「ジオパークと地理学」(春季学術大会)および巡検「銚子ジオパークの自然と地域づくり」を実施した。

## II. 処務の概要

### ① 役員等に関する事項

平成 25 年度末現在

職名	常勤・非常勤	氏名	就任(重任)年月日	担当職務	報酬	現職	備考
理事長	非常勤	荒井 良雄	平成 24 年 4 月 1 日		なし	東京大学教授	
常務理事	非常勤	山下 清海	平成 24 年 4 月 1 日	総務専門委員長	なし	筑波大学教授	
常務理事	非常勤	箸本 健二	平成 24 年 4 月 1 日	財務専門委員長	なし	早稲田大学教授	
理事	非常勤	松井 圭介	平成 24 年 4 月 1 日	総務専門副委員長	なし	筑波大学教授	
理事	非常勤	江崎 雄治	平成 24 年 4 月 1 日	財務専門副委員長	なし	専修大学教授	
理事	非常勤	戸所 隆	平成 24 年 4 月 1 日	集会専門委員長	なし	高崎経済大学教授	
理事	非常勤	須貝 俊彦	平成 24 年 4 月 1 日	交流専門委員長	なし	東京大学教授	
理事	非常勤	春山 成子	平成 24 年 4 月 1 日	交流専門副委員長・ 災害対応担当	なし	三重大大学教授	
理事	非常勤	小口 高	平成 24 年 4 月 1 日	広報専門委員長	なし	東京大学教授	
理事	非常勤	松原 宏	平成 24 年 4 月 1 日	E-journal GEO 編集専門委員長	なし	東京大学教授	
理事	非常勤	村山 祐司	平成 24 年 4 月 1 日	企画専門委員長	なし	筑波大学教授	
理事	非常勤	渡辺 満久	平成 24 年 4 月 1 日	地理学評論編集専門委員長	なし	東洋大学教授	
理事	非常勤	若林 芳樹	平成 24 年 4 月 1 日	Geographical Review of Japan Series B 編集専門委員長	なし	首都大学東京教授	
理事	非常勤	竹内 裕一	平成 24 年 4 月 1 日	地理教育専門委員長	なし	千葉大学教授	
理事	非常勤	鈴木 厚志	平成 24 年 4 月 1 日	資格専門委員長	なし	立正大学教授	
監事	非常勤	菊地 俊夫	平成 24 年 4 月 1 日		なし	首都大学東京教授	
監事	非常勤	金田 章裕	平成 24 年 4 月 1 日		なし	人間文化研究機構長	

### ② 職員に関する事項

平成 25 年度末現在

勤務形態	当期末 (平成 26 年 3 月末)	前期末比増減
常勤	1 名	0 名
非常勤	4 名	-1 名

③ 会議等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 25 年 4 月 13 日	1. 会員の入退会について 2. 名誉会員の推薦について	承認 承認
平成 25 年 6 月 1 日	1. 会員の入退会について 2. 2012 年度事業報告について 3. 2012 年度収支決算報告について 4. 2013 年度定時総会について 5. 名誉会員の推薦について 6. 代議員選挙規程の改定について	承認 承認 承認 承認 承認 承認
平成 25 年 10 月 12 日	1. 会員の入退会について	承認
平成 26 年 1 月 11 日	1. 会員の入退会について 2. 名誉会員の推薦について 3. 「小池一之寄附金」取扱規程について	承認 承認 承認
平成 26 年 3 月 8 日	1. 会員の入退会について 2. 財務報告について 3. 2013 年度補正予算案について 4. 2014 年度事業計画案について 5. 2014 年度収支予算案について 6. 理事会推薦理事の承認について 7. 「京都会議寄附金」の取扱について 8. 若手研究者国際会議派遣事業について	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認

(2) 総会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 25 年 6 月 22 日	1. 2012 年度事業報告について 2. 2012 年度収支決算について 3. 名誉会員の推薦について	全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認・決定
平成 26 年 3 月 26 日	1. 名誉会員の推薦について	全会一致で承認・決定